

2020年 月 日

公益社団法人日本学生陸上競技連合
会長 松本 正之 様

大学

部長 印

監督 印

主務 印

誓約書

日本学生陸上競技連合(以下日本学連)が新型コロナウイルス感染症対策を講じて行う天皇賜盃第 89 回日本学生陸上競技対校選手権大会の出場に際し、新潟に帯同する本大学の関係者全員が以下のすべての項目を遵守して参加し、違反者が出た場合には出場取りやめ、もしくは失格という裁定に従うことを誓います。

注) 関係者全員にコピーをして配付し、実際に内容が遵守されるようにしてください。

1. 新型コロナウイルス感染症は若い年齢層は感染しても無症状になる場合があります、予防の観点から新潟県に行く大学関係者は、2 週間前から密になるような場所で食事をしない、換気できない場所でミーティングを行わない、不要不急の外出特に若者が集まるような場所には行かない。
2. IDの発行を受けない者(定められた人数の ID 所持者名簿に氏名を掲載しない者)は、県を跨いで新潟に帯同しない。また、IDは必ず本人にのみ使用させ、複数名で使いまわすことは絶対にしない。
3. 新潟に来る選手・スタッフは、全員、遅くとも 9 月初めまでに、接触確認アプリ COCOA をインストールする。
4. 事前に配布する体調管理チェックシートは、8 月 27 日以降 9 月 26 日まで毎日記入することを、新潟に帯同する関係者全員に義務づける。(各自保管し、要請があった場合は速やかにコピーを提出する)
5. 事前に配布するチーム提出用体調管理チェックシートは、チーム責任者が大会参加当日、各大学の最初に出場する競技者の招集開始時刻30分前までにインフォメーションセンターに提出する。
6. 前日、当日、自宅を出る前に検温し、異常が無いことを確認する。新潟市に入ってから、発熱・風邪の症状が出た者は、速やかに参加大学の責任で適正な対応をとり、競技会当日、受付にて当該者の状況を報告する。
7. ホテルチェックイン後、市民感情にも配慮し、特に夜の外出は極力避けること。ホテル内に食事施設が無く、食事のため外出する際には密にならないよう、粛々と食事を済ませ、他の目的で外出はしない。
なお、多くのホテルでは、朝食時バイキング形式になっていると思われるが、宿泊施設の指導に従い、各自感染症対策を心掛ける。
8. 公共交通機関を利用する場合は、不要な会話は控え、3「密」にならないようマナーを守る。
9. 宿舎、大会会場での移動の際は必ずマスクを着用する。
10. 宿泊施設内に共同浴場がある場合は使用を控える。
11. 宿舎内では移動の都度、アルコール消毒や手洗いを励行する。
12. 大会終了後に発熱・風邪の症状が出現した場合には最寄りの帰国者・接触者相談センターに連絡して相談すること。万が一新型コロナウイルス感染症と診断された場合には、日本学連にも必ず連絡をする。
13. 関係機関から求められた場合は、速やかに各人の詳細な行動記録等を提出し、追跡調査に協力する。

以上